



報道関係各位

令和8年4月27日

## 兵庫県の新品種米「コ・ノ・ホ・シ」など 水稲の育苗管理始まる

JA兵庫南(兵庫県加古川市、野村隆幸組合長)は、JA兵庫南の営農総合支援センター(加古郡稲美町)で、水稲の育苗管理が4月24日より始まりました。当JAでは本葉が2~3枚の稚苗(七日苗)と本葉が4枚以上の成苗(二十日苗)を、生産者からの注文に応じて出荷しています。水稲苗は出荷までに7日~20日程度、水の管理や生育状況の確認をしていく必要があります。営農総合支援センターでは、育苗センター(加古川市)で播種から稚苗(七日苗)まで育てた後、成苗(二十日苗)になるまで管理しています。職員らが総出で並べた育苗箱は、初夏の日差しの中で萌える緑が整然と並び、当JAの風物詩と言えるでしょう。今年には兵庫県の新品種米「コ・ノ・ホ・シ」を始め、育苗箱約12万枚を出荷予定です。

さらなる生産拡大や産地振興へ向けた取り組みをぜひ取材いただき、報道の資料としてご活用ください。



品種:コ・ノ・ホ・シ、あきたこまち、コシヒカリ、ヒノヒカリ  
育苗期間:4月24日~6月中旬  
作業日時:不定期、午前中(雨天中止)  
場所:JA兵庫南営農経済センター(加古郡稲美町北山1243-1)

JA兵庫南は明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町を管内に、暮らしを支えるさまざまな事業を展開しています。地域産業の一つである農業の振興を柱に、地産地消や食の大切さを発信しているほか、地域が安心できる暮らしづくりに力を注いでいます。

この件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先

JA兵庫南 総務部ふれあい広報課 担当:高見  
直通電話:(079)424-1388 FAX:(079)424-1134  
email:takami246@ja-hyogominami.com